

一般公開講演会

『ドングリと北上山地』



ドングリと日本人とのかかわりあいの過去・現在・未来について、各分野の専門家をお招きして講演をしていただきます（裏面にプログラム有り）

日時：2009年11月8日（日曜日）10:00～12:40

場所：岩手県岩泉町・岩泉町民会館大会議室

無料でどなたでもご参加いただけます。当日会場へ直接お越しください。

主催：総合地球環境学研究所・NPO法人ぱあとなあ

後援団体：岩泉町、岩泉町教育委員会、こんならの会、ふるさと伝承サークル

『ドングリと北上山地』

2009年11月8日(日)10:00~12:40 岩泉町民会館大会議室

趣旨

人類の歴史は、常にドングリの木と共にあったといわれます。コナラ、ミズナラ、クヌギなどは、日本では食用として薪炭林として人に利用されるだけではなく、森の動物にとっても重要な資源でありました。

なかでも岩手県岩泉町は、ドングリと人とが昔から密接にかかわりあい、現在でもドングリを使ったパンを焼く家庭があり、商品としてラーメンやクッキーなどが販売されているドングリ文化の中心地でもあります。ここでは、ドングリと日本人とのかかわりあいの過去・現在・未来について、考えてみたいと思います。

●プログラム

司会・趣旨説明 池谷和信(国立民族学博物館)

講演1 野本寛一(近畿大学名誉教授) 堅果類と日本人

講演2 大住克博(森林総合研究所) ドングリの森のエコロジー

講演3 新屋金蔵(木彫家) 山の暮らしを語る

講演4 八重樫春子(食文化研究家) 主食だった”こんなら“

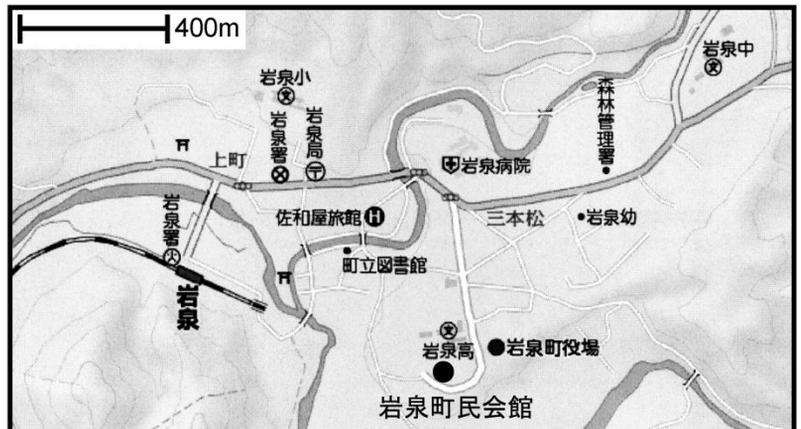
講演5 岡 恵介(東北学園大) ドングリ文化と岩泉

コメント(三戸幸久)および全体討論

岩泉町民会館へのアクセス

住所: 岩手県下閉伊郡岩泉町
岩泉松橋21-1

岩泉町役場から徒歩1分



講演会に関する連絡先:

池谷和信 (国立民族学博物館) 電話(直通)06-6878-8279 ikeya@idc.minpaku.ac.jp

佐々木雅子(NPO法人ぱあとなあ) 電話0194-22-2771 Masako.S@town.iwazumi.iwate.jp